



静岡県でサッカーが盛んなのはなぜ？ ～サッカー王国静岡と呼ばれる理由～



静岡県で有名なスポーツといえばサッカーを思い浮かべる方も多いと思います。
なぜサッカー王国と呼ばれるほど盛んなのでしょうか。

① サッカースポーツ少年団発祥の地

1924年藤枝市に旧制志太中学校(現・藤枝東高校)が創立された際、初代校長がサッカーを校技に取り入れました。

当時は野球を校技とするのが一般的な時代で、異例な取り組みでしたが、それ以来、志太中学校蹴球部(サッカー部)は数々の大会で優勝するなど活躍し、藤枝市にサッカーは根付いていきました。

そして、スポーツ少年団制度が発足した後、藤枝サッカー少年団は、1964年に、サッカー少年団として全国初の登録を果たしました。

その後、藤枝市から県内にサッカーが広がり特に清水市(当時)で盛んとなりました。そして、1967年には清水市内の各少年団が半年かけて戦う日本初の小学生リーグが始まりました。

教育にサッカーを最初に取り入れたことが静岡県にサッカーが広まるきっかけとなったのです。

他にも静岡県とサッカーに関する統計をみてみましょう。



② 国体サッカー少年男子優勝回数日本一

昭和21年から始まった「国民体育大会サッカー少年男子の部」における静岡県勢の優勝回数は、実施73大会のうち、23回で全国1位となっています。

国体サッカー少年男子優勝回数

	1位 静岡県	2位 埼玉県	3位 千葉県
優勝回数	23回	14回	8回

③ Jリーガーのうち、都道府県別出身地日本一

JリーグのJ1,J2,J3に所属する国内出身のサッカー選手は1,427人で、人口10万人あたり1.12人です。都道府県別の出身地で見ると選手数が最も多いのは静岡県で、人口10万人あたり2.17人になります。

④W杯日本代表選手 出身都道府県日本一

2018年開催のワールドカップ(W杯)・ロシア大会までで、W杯日本代表の肩書を持つ選手は、1998年フランス大会から数えて計90人になります。その出身地を都道府県別に比べると、最も多いのは静岡県で16人になります。次に多いのが東京都で7名ですので、静岡出身選手の多さが際立っていることが分かります。(出典 日刊スポーツ)

このように、静岡県は日本代表、Jリーグと多くのサッカー選手を輩出しています。

⑤行動者率

平成23年に行われた社会生活基本調査の結果により、「サッカー」の行動者率(過去1年間にある行動を行った人の10歳以上の人口に占める割合)を都道府県別にみると、静岡県が7.2%と最も高い結果となりました。

平成28年に行われた同調査では、神奈川県が8.0%と最も高く、次いで千葉県が7.4%、静岡県が6.8%となっており、順位は下げましたが依然として高い行動者率でした。

(出典 平成23年、28年度 社会生活基本調査)

都道府県別サッカーの行動者率

順位	平成23年	平成28年
1位	静岡県、埼玉県(7.2%)	神奈川県(8.0%)
2位	-	千葉県(7.4%)
3位	東京都(7.0%)	静岡県(6.8%)



このような経緯で静岡県はサッカーが盛んとなり、様々な結果を残し、多くの選手を輩出したことでサッカー王国と呼ばれるようになりました。

また、静岡県はサッカー選手が多いだけでなく、社会生活基本調査の行動者率の高さからも分かるように、サッカーは広く県民に根付いているスポーツであることが分かりました。

スポーツの秋ということで皆さんもサッカーを観戦、プレーしてみたいかがですか！